

社会資本総合整備計画

かみのやまじょうしゅうへん ちく と し さいせい せい び けい かく
上山城周辺地区都市再生整備計画

(第2回変更)

やまがた 山形県
かみのやまし 上市

平成25年12月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 魅力豊かな回遊コースの整備 回遊の核となる上山城の拠点機能を向上させるとともに、上山城を中心に、武家屋敷通り、湯町の温泉街、湯の上観音、十日町通り、三島坂、月待坂を一周する回遊コースを設定し、道路空間の美装化やサイン整備や上山温泉クアオルト構築のために健康ウォーキングの発着拠点を設置し、交流の場や休憩の場として整備を進める。 上山城周辺の道路空間や街並みを修景することで、さまざまな地域資源を結んだ回遊コースの基盤をつくり、将来的には、本市を訪れる観光客が、城や武家屋敷、足湯、歴史的街並みが残る十日町通り等を楽しめめぐり歩き、その途中で市民とふれあい、小売店や飲食店に立ち寄りたりするような、賑わいのあるまちを目指す。</p>	<p>道路(道路の美装化事業) 地域生活基盤施設(歩行者誘導舗装整備事業、上山城拠点機能強化事業、憩い空間整備事業、遊歩道整備事業、駐車場整備事業) 既存建造物活用事業(温泉クアオルト拠点整備事業) 地域創造支援事業(上山城拠点機能強化事業)</p>
<p>整備方針2: 安全で快適な市街地環境の改善 街なかの歩行者空間をしっかりと確保するとともに、気軽に休んだり、おしゃべりしたり、一人ひとりが主役になれる居心地良い場所づくりを進めることで、将来的には、「住んでよし、訪れてよし」と言われるような居心地の良い快適なまちを目指す。また、街なかを拠点としてさまざまな市民活動が展開され、活動内容をお互いに披露し、刺激を受け合い、あるいは新たなステップに向けて複数の団体が連携したりするなど、市民主導によるまちづくりがさらに本格化していくことを目指す。</p>	<p>地域生活基盤施設(憩い空間整備事業、遊歩道整備事業) 高質空間形成施設(ユニバーサルサイトI推進事業) 高次都市施設(コミュニティーセンター整備事業) 地域創造支援事業(高齢者サロン設置事業及び社会実験、十日町通り電柱移設調査事業) まちづくり活動推進事業(十日町通り景観形成支援事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>○交付期間中の事業の進行管理について 各課連携のもと事業を着実に推進するとともに、庁内の「上山まちづくり推進会議」を中心に事業進捗の評価や改善を検討し、それらの状況については情報公開に努め、広く市民へ伝えることとする。</p> <p>○交付期間終了後の継続的なまちづくりについて 事業終了後も、山上市中心市街地活性化協議会等との連携を継続し、官民が目標を共有し、協働してまちづくりを進める。</p> <p>○街並み形成や賑わい再生に向けた市民活動の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、商店会活動や市民活動等により、街並み形成や特産品づくりなどのまちづくり活動が芽生えてきており、NPO法人化の動きもある。 ・ 中心商店街である十日町通りでは、若手後継者が平成20年に「十日町未来会」を立ち上げ、商業祭の開催など、意欲的な活動を見せている。 ・ 市民活動の中で、今ある町家建築の良さが見直されはじめており、改修によって魅力的な住宅ストックとして再生する気運が現われている。 ・ 東北芸術工科大学との連携により、学生が空き店舗を活用したギャラリー開設など、様々なまちづくり活動に関与している。 	

上山城周辺地区(山形県上市市) 整備方針概要図

目標	住んでよし・訪れてよし、カミノヤマジョウ周辺の風情を活かし、賑わいと居心地良さが同居した中心市街地の再生	代表的な指標	中心市街地観光入込客数 (人/年)	265,213 (H20年度)	→	267,000 (H27年度)
			歩行者・二輪車通行量 (人/日)	4,692 (H21年度)	→	4,745 (H27年度)
			中心市街地への居住意向率 (%)	15 (H20年度)	→	20 (H27年度)

